

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポートあくしす上沢		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	R6年11月1日		R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域に沿った、多様な活動プログラムの提供。	・プログラム名としては同じ活動でも領域に合わせたねらいやアプローチ、内容が違うものを毎月立案し、お子様が楽しみながらプログラムに参加していただけるよう工夫しています。	・お子様の現状に合わせた新しいプログラムを取り入れ、お子様が楽しみながら心身の総合的な成長を促せるようなプログラム内容を提供します。
2	・SNSなどを活用した、日々の療育の様子の共有。	・Instagramを通して毎日の療育の様子を発信しています。	・プログラムに加え、自由時間のご様子などをSNSを通して発信し、保護者様が安心して当事業所をご利用いただけるよう支援します。
3	・児童が広々と活動できるスペースの確保。	・圧迫感が出ないよう、色や高さ、安全性などに配慮した備品の設置を行っています。	・引き続き、療育室の定期的な備品の配置の見直しや、整理整頓を行い、お子様がのびのびと体を動かしながら活動いただけるよう十分なスペースの確保を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことと活動する機会の提供。	・事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。また、交流会など直接的な交流はお子様の特性などを考えると負担になる可能性も高いので、実施の検討はできていません。	・買い物実習や調理実習、レモネードスタンドの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきます。
2	・事業所の設備等のバリアフリー化。	・建物の構造上エレベーターの設置なども難しく、バリアフリーにはなっていません。	・完全なバリアフリー化は難しいですが、階段やトイレには手すりを設置し、お子様の階段の上り下りの際には引き続き必ず職員が付き添い、安全を確保しながら支援にあたります。
3	・父母の会の活動の支援や、保護者会、兄弟同士の交流の機会、ご家族に対しての家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や研修会や情報提供。	・ペアレントトレーニングに関しては、家族支援プログラムとしての実施はできていません。送迎時など日々の申し送りの際に、その都度助言やアドバイスを行っています。また、共働きのご家庭が多いので、日程の調整も難しいと判断しています。	・保護者の方同士でつながりを持てるよう保護者会や研修会等のイベントを企画していきます。